



## 平成27年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年5月12日

上場会社名 株式会社メディネット 上場取引所 東  
 コード番号 2370 URL http://www.medinet-inc.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 木村 佳司  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 宮本 宗 TEL 045-478-0041  
 四半期報告書提出予定日 平成27年5月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年9月期第2四半期の連結業績（平成26年10月1日～平成27年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第2四半期	863	△13.5	△739	—	△549	—	△638	—
26年9月期第2四半期	998	△2.6	△610	—	△637	—	△229	—

(注) 包括利益 27年9月期第2四半期 △619百万円 (—%) 26年9月期第2四半期 △985百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第2四半期	△7.23	—
26年9月期第2四半期	△2.61	—

(注) 当社は、平成26年4月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。1株当たり四半期純損失につきましては、当該分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年9月期第2四半期	9,480	7,861	82.6
26年9月期	9,947	8,479	85.0

(参考) 自己資本 27年9月期第2四半期 7,832百万円 26年9月期 8,451百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年9月期	—	0.00	—	—	—
27年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成27年9月期の連結業績予想（平成26年10月1日～平成27年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,000	8.5	△1,800	—	△1,800	—	△1,810	—	△20.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年9月期2Q	88,333,100株	26年9月期	88,333,100株
② 期末自己株式数	27年9月期2Q	一株	26年9月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年9月期2Q	88,333,100株	26年9月期2Q	87,860,573株

(注) 当社は平成26年4月1日付で、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を記載しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。
- ・当社は、平成27年5月26日（火）に機関投資家及び証券アナリスト向けに決算説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。また、決算説明資料については、東京証券取引所ホームページ（東証上場会社情報サービス）にも掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成26年10月1日から平成27年3月31日まで)当社グループは、平成26年11月に施行された、企業などによる細胞加工の受託を認めた「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」と、再生・細胞医療を実施するための再生医療等製品について定義した「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」による規制環境の変化を捉え、新たな事業展開による事業拡大に向けた取り組みを強化しております。

特に当第2四半期連結累計期間においては、これまでの主力事業であった医療機関に対する免疫細胞療法総合支援サービスに加え、企業、大学、研究機関等からの臨床用、治験用の細胞加工受託を事業化するため、また、当社グループが行っている研究開発の成果をもとに細胞医療製品の製造・販売承認の取得を目指して、東京都品川区に新たに建設している細胞培養加工施設(CPF)の本格稼働に向けた構築作業を計画的に進めております。

売上高については、免疫細胞療法総合支援サービスの売上が前第2四半期連結累計期間に比べて減少したこと等により、当第2四半期連結累計期間の売上高は863,423千円(前年同期比135,081千円減、13.5%減)となりました。研究開発活動については、細胞医療製品の製造・販売承認の取得に向けて、当第2四半期連結累計期間では、株式会社IDファーマ(旧社名:ディナバック株式会社)と締結した「樹状細胞を増幅する特許技術」の実施許諾契約に基づく技術評価に係る研究開発費等が発生しておりますが、一方で研究開発投資の再評価を行い、研究開発費の適正化を図ったこと等により、当第2四半期連結累計期間の研究開発費は281,989千円(前年同期比125,131千円減、30.7%減)となりました。販売活動については、新たな事業展開に向けた取引先の開拓等の取り組み強化により、当第2四半期連結累計期間の販売費は163,183千円(前年同期比33,287千円増、25.6%増)となりました。また、新たな事業環境における細胞加工業及び細胞医療製品事業の推進・展開を図るための戦略的投資等により、当第2四半期連結累計期間の一般管理費は670,332千円(前年同期比98,353千円増、17.2%増)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の販売費及び一般管理費は1,115,506千円(前年同期比6,509千円増、0.6%増)となり、営業損失は739,274千円(前年同期は営業損失610,107千円)となりました。

その他、投資事業組合運用益42,272千円、受取利息24,571千円、外貨建ての投資有価証券及び長期貸付金の円換算等による為替差益121,980千円等の営業外損益により、当第2四半期連結累計期間の経常損失は549,958千円(前年同期は経常損失637,922千円)となりました。また、NCメディカルリサーチ株式会社との提携検討の中止に伴う和解金50,000千円を特別損失に計上したこと、資産除去債務の増加による法人税等調整額32,731千円等により、四半期純損失は638,254千円(前年同期は四半期純損失229,358千円)となりました。

報告セグメント別の業績の概況は、以下のとおりであります。

#### ①細胞加工業

細胞加工業については、当第2四半期連結累計期間においては、企業、大学、研究機関等からの臨床用、治験用の細胞加工受託を事業化するため、品川細胞培養加工施設(CPF)の本格稼働に向けた構築作業を計画的に進めている途中であることから、医療機関に対する免疫細胞療法総合支援サービス売上が収益の柱となっておりますが、既存契約医療機関に対する免疫細胞療法総合支援サービス売上が減少したこと等により、売上高860,636千円(前年同期比137,254千円減、13.8%減)、セグメント損失は98,041千円(前年同期はセグメント利益106,777千円)となりました。

#### ②細胞医療製品事業

細胞医療製品事業については、当社グループで行っている研究開発の成果とともに、米国Argos Therapeutics社から導入した「AGS-003」による細胞医療製品の開発に取り組んでおります。日本国内においては、これまで継続的に行ってきた大学病院等との共同研究を通じて、細胞医療製品の可能性を探索しております。また、国内外で行われている細胞医療製品の開発動向にも注目し、すでに着手している上記「AGS-003」の日本での商業化への取組みに加えて、それらのパイプライン取得を視野に入れた活動も行っております。細胞医療製品事業は現在、開発投資が先行している状況ですが、細胞医療製品の可能性を評価するための先進医療を実施している契約医療機関に対して免疫細胞療法総合支援サービスを提供し、収益を計上しております。当第2四半期連結累計期間においては、研究開発投資の再評価を行い、研究開発費の適正化を図ったこと等により、売上高は2,787千円(前年同期比2,172千円増、353.7%増)、セグメント損失は285,531千円(前年同期はセグメント損失467,049千円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて467,340千円減少し、9,480,075千円となりました。流動資産は5,409,608千円と前連結会計年度末に比べて1,186,107千円減少しており、主な要因は現金及び預金の減少250,866千円、有価証券の減少999,921千円です。固定資産は4,070,467千円と前連結会計年度末に比べて718,767千円増加しており、主な要因は建物及び構築物の増加849,757千円、有形固定資産その他に含まれる建設仮勘定の減少407,791千円及びリース資産の増加97,841千円、投資有価証券の増加86,423千円及び長期貸付金の増加97,380千円によるものです。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて150,807千円増加し、1,618,841千円となりました。そのうち流動負債は1,185,626千円で前連結会計年度末に比べて100,443千円減少しております。主な要因は流動負債その他に含まれる未払金の減少96,929千円です。固定負債は、前連結会計年度末に比べて251,250千円増加し、433,215千円となりました。主な要因は、品川細胞培養加工施設(CPF)に設置する設備の取得に伴う資産除去債務の増加138,660千円、固定負債その他に含まれる長期リース債務の増加77,493千円及び繰延税金負債の増加35,097千円です。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、四半期純損失638,254千円、その他有価証券評価差額金の増加19,111千円等により前連結会計年度末に比べて618,147千円減少し、7,861,234千円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の85.0%から82.6%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて1,250,787千円減少し、4,660,090千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動に使用した資金は757,161千円(前年同期は432,276千円の使用)となりました。

主な増加要因は、減価償却費114,148千円であり、主な減少要因は、税金等調整前四半期純損失600,247千円、為替差益119,958千円及び未払金の減少59,959千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用した資金は472,564千円(前年同期は622,657千円の使用)となりました。

主な内訳は、有形固定資産の取得による支出411,007千円及び無形固定資産の取得による支出56,732千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に使用した資金は21,061千円(前年同期は419,875千円の獲得)となりました。

その内訳は、リース債務の返済による支出21,061千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は平成26年11月13日に公表した数値に変更はありません。連結業績予想の修正については、連結業績に影響を与える見積りや将来予測等を含め、修正が必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

なお、連結業績予想をセグメント別に表すと以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結予想額 (注) 2
	細胞加工業	細胞医療製 品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,000	—	2,000	—	2,000
セグメント間の内部売上高 又は振替高	250	—	250	△250	—
計	2,250	—	2,250	△250	2,000
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	140	△1,210	△1,070	△730	△1,800

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△730百万円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、連結業績予想の営業損失と調整を行っております。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,110,956	1,860,090
売掛金	297,767	316,092
有価証券	3,799,921	2,800,000
原材料及び貯蔵品	103,021	94,374
その他	284,049	339,051
流動資産合計	6,595,715	5,409,608
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	185,849	1,035,606
その他(純額)	618,524	325,722
有形固定資産合計	804,374	1,361,328
無形固定資産	291,694	307,778
投資その他の資産		
投資有価証券	538,471	624,894
長期貸付金	1,565,050	1,662,430
長期前払費用	578,036	537,185
貸倒引当金	△580,000	△580,000
その他	154,073	156,850
投資その他の資産合計	2,255,631	2,401,360
固定資産合計	3,351,700	4,070,467
資産合計	9,947,416	9,480,075
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	110,580	101,385
短期借入金	800,000	800,000
未払法人税等	23,946	20,207
賞与引当金	80,080	75,926
資産除去債務	3,710	-
その他	267,753	188,105
流動負債合計	1,286,070	1,185,626
固定負債		
資産除去債務	72,889	211,549
その他	109,074	221,665
固定負債合計	181,964	433,215
負債合計	1,468,034	1,618,841
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,375,761	6,375,761
資本剰余金	7,788,321	7,788,321
利益剰余金	△5,799,062	△6,437,316
株主資本合計	8,365,020	7,726,766
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	86,784	105,896
その他の包括利益累計額合計	86,784	105,896
新株予約権	27,576	28,571
純資産合計	8,479,381	7,861,234
負債純資産合計	9,947,416	9,480,075

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)
売上高	998,504	863,423
売上原価	499,615	487,191
売上総利益	498,889	376,231
販売費及び一般管理費	1,108,996	1,115,506
営業損失(△)	△610,107	△739,274
営業外収益		
受取利息	17,833	24,571
為替差益	—	121,980
投資事業組合運用益	—	42,272
設備賃貸料	5,306	4,809
その他	684	3,211
営業外収益合計	23,824	196,844
営業外費用		
支払利息	3,373	4,100
為替差損	11,536	—
投資事業組合運用損	24,802	—
設備賃貸費用	3,779	3,248
その他	8,147	179
営業外費用合計	51,640	7,528
経常損失(△)	△637,922	△549,958
特別利益		
投資有価証券売却益	440,145	—
特別利益合計	440,145	—
特別損失		
固定資産除却損	554	289
投資有価証券評価損	7,100	—
出資金評価損	19,388	—
和解金	—	50,000
特別損失合計	27,042	50,289
税金等調整前四半期純損失(△)	△224,820	△600,247
法人税、住民税及び事業税	4,862	5,276
法人税等調整額	△324	32,731
法人税等合計	4,538	38,007
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△229,358	△638,254
四半期純損失(△)	△229,358	△638,254

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△229,358	△638,254
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△756,252	19,111
その他の包括利益合計	△756,252	19,111
四半期包括利益	△985,611	△619,142
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△985,611	△619,142
少数株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△224,820	△600,247
減価償却費	93,773	114,148
賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,547	△4,153
受取利息及び受取配当金	△17,833	△24,571
支払利息	3,373	4,100
出資金評価損	19,388	—
投資有価証券評価損益(△は益)	7,100	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△440,145	—
投資事業組合運用損益(△は益)	24,802	△42,272
為替差損益(△は益)	11,579	△119,958
有形固定資産除却損	554	289
売上債権の増減額(△は増加)	39,281	△18,325
たな卸資産の増減額(△は増加)	4,461	8,647
仕入債務の増減額(△は減少)	△40,641	△9,194
未払金の増減額(△は減少)	△2,758	△59,959
その他	96,150	2,079
小計	△430,281	△749,418
利息及び配当金の受取額	10,707	6,396
利息の支払額	△3,364	△4,078
法人税等の支払額	△9,338	△10,061
営業活動によるキャッシュ・フロー	△432,276	△757,161
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△46,031	△411,007
無形固定資産の取得による支出	△34,235	△56,732
長期前払費用の取得による支出	△10,000	—
投資有価証券の取得による支出	△38,909	—
投資有価証券の売却による収入	443,745	—
資産除去債務の履行による支出	△36,000	△3,710
長期貸付金の回収による収入	52,100	—
長期貸付けによる支出	△949,680	—
その他	△3,646	△1,114
投資活動によるキャッシュ・フロー	△622,657	△472,564
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による収入	433,255	—
リース債務の返済による支出	△13,151	△21,061
その他	△228	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	419,875	△21,061
現金及び現金同等物に係る換算差額	△264	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△635,323	△1,250,787
現金及び現金同等物の期首残高	7,680,991	5,910,877
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,045,667	4,660,090

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成25年10月1日 至 平成26年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	細胞加工業	細胞医療製品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	997,890	614	998,504	—	998,504
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	997,890	614	998,504	—	998,504
セグメント利益又は損失 (△)	106,777	△467,049	△360,271	△249,836	△610,107

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△249,836千円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成26年10月1日 至 平成27年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	細胞加工業	細胞医療製品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	860,636	2,787	863,423	—	863,423
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	860,636	2,787	863,423	—	863,423
セグメント損失(△)	△98,041	△285,531	△383,573	△355,701	△739,274

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△355,701千円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。